



コロナなんか
負けてたまるかッ！！



良客万来通信

発行者：良客万来広告工房 代表 鈴木光治
 (旧屋号：鈴木DMライター事務所)
 〒553-0003
 大阪市福島区福島4-6-2
 吉川産業ビル 206号
 電話(携帯)：080-2434-5395
 メール：info@kyoukan-copy.com
 URL：https://kyoukan-copy.com



おバカタレントで大人気の

実は、滝沢カレンさんは、ただものではないのだよ。

- ▶ 滝沢カレンさんは、独特過ぎる日本語表現で周囲を笑わせる、人気のおバカタレントだ。実は、彼女はただのおバカタレントではないのだ。類まれなる新しい日本語の使い手なのだ。というのも彼女は、明治大学文学部教授の斎藤孝氏も認める『自分らしい表現とは何かを教えてくれる現代の表現者』なのだ。コピーライターの糸井重里氏も、「この人は、日本語をこわしているのではない。あたらしい日本語をデザインしているのだ」と、彼女の持つ、常識外の表現力の豊かさを絶賛しているのだ。

実は私、こうやって文章を作っているのだが、いつも不安不安で仕方がないのだ。「読み手をグイグイ惹きつける面白い文章を書いているのかなあ、きっと、つまらない文章書いてるんだろうなあ・・・」で。そんなどうしようもなく不安な気持ちになったとき出会えたのが、この本なのだ。「日本語はもっと自由に表現していいのだよ。」と、この本に教えてもらったのだ。

その本とは、タレントの滝沢カレンさんが出版した料理本だ。料理本といっても、よくあるレシピ集ではない。彼女の独特な日本語表現によって紡ぎ出された、料理が出来るまでのストーリー集だ。最初のうちは、彼女の独特過ぎる表現にとまどうかもしれない。しかし、読み進めていくうちに、いつの間にかほっこり笑顔にさせてくれるのだ。独特な日本語を自由自在に操る滝沢カレン・ワールドを堪能して欲しいのだ。そして、ほっこり笑顔になって、コロナに戦争と、世の中を覆う不安と殺伐した空気を、しばし忘れて欲しいのだ。



読んだら作ってみたいくなる！
カレンの台所
 滝沢カレン著
 サンクチュアリ出版

1540円(税込)

当たり前の事ののだが、私には彼女のような独特な表現力のある、読み手をほっこり笑顔にさせる文章など書けるわけがない。(オッサンだしネ・・・)

でも、「あ、何か書いてある、どれどれ、ふーん、なるほどなるほど・・・」で、結局最後まで読み切って、願わくば、「この人から買いたい」、あるいは、「この人に問い合わせをしたい」と、購入ボタンや問い合わせボタンを”ポチッ”と、押したくなる・・・そんな、”商品やサービスを売る人の魅力を伝える文章の書き手”を目指して、気を取り直して、今日もこれからもまだまだ精進が続くのだ。

【良客万来広告工房のロゴマーク】



良客万来広告工房と
 関わりのある全ての人が
 招き猫ちゃんのように
 人とお金を引き寄せて、
 えびす様のようにニコニコと、
 そして、フタさんのように
 まるまると豊かなご商売と人生を。

【良客万来通信】発行者



良客万来広告工房
 代表の鈴木光治です。

【発行者からひとこと】

「なぜ、あなたから買わなければいけないの？」を「あなたから買いたい」へ。
 広告の読み手が、売り手に対して「この”人”から買いたい」「まずは、この”人”がいるこの会社に問合せをしたい」・・・そんな”ワクワク”した良い感情”を持ってもらい、そしてお問合せやアポイント・来店など、売り手が望む行動へと促す広告作りを目指しています。



良客万来通信



バイバイ!
コロナウイルス

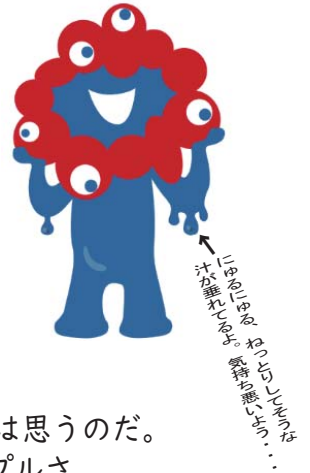


何だ、コレ?? 気持ち悪いよう・・・
怖いよう・・・ 悪い夢見そうだよ・・・。

つい先日、2025年に行われる大阪・関西万博の公式キャラクターが決定した。

このキャラクターは、既に決定した大阪・関西万博に与えられたコンセプトを表現したロゴマークを元にデザインされたそうだ。(愛称はまだ未定らしい)

実は私、この公式キャラクターはどうしても好きになれそうにないのだ・・・。
なぜなら、目が5個も付いていて何だか化け物みたいで気持ち悪いのだ。つまり可愛くないのだ。(あくまでも個人的な感想なので、このキャラクターを一目見て好きになった方は、お許しの程・・・。)



やっぱり公式マスコットやキャラクターは、可愛くなければいけないのだ。と私は思うのだ。
・丸っこく愛らしく、そして、ちびっ子たちがつい落書きしたくなるようなシンプルさ。
・着ぐるみが近づいて来たらちびっ子たちが「わあ、〇〇だあ～! ♪」と大喜びしてペタペタ触りたくなるような、そしてその愛らしさに大人も思わずちびっ子たちと一緒に「かわいい♪」とニコニコ笑顔になり、響き渡るスマホのシャッター音の嵐。そんな可愛らしさがなければいけないと、私は思うのだ。

例えば、最近ならパンダをモチーフにした北京オリンピックのマスコット”ビンドゥンダウン”。だ。ゆるキャラなら、彦根城の”ひこにゃん”、熊本のくまモン。そしてテレビのキャラクターなら”チョコちゃん”だ。

どれも丸っこくて愛らしいのだ。そしてちびっ子たちが落書きしやすいシンプルさがあるのだ。

大阪・関西万博まであと3年。

果たしてこのキャラクターは、大阪はもちろん日本中、そして世界中のちびっ子たちに愛され、笑顔をもたらしてくれるだろうか。ちびっ子達が喜んで落書きしてくれるだろうか。

とは言うものの・・・。せっかく大阪で万博が開かれるのだ。

きっと、3年後はコロナも収束し、世界中から沢山の人が大阪にやって来るのだ。

その頃には、私の心配をよそに、このキャラクターは世界中の人気者になっているかもしれないのだ。閑空では、このぬいぐるみを抱きしめた世界中のちびっ子たちであふれているかもしれないのだ。

万博を見学した後は、大阪に限らず、神戸・京都・奈良、東京・・・、ついでに日本全国津々浦々へと繰り出して、観光や買い物でド派手にお金を使って欲しいのだ。

そんなわけで、この万博の成功を心から祈ってやまないのだ。



【良客万来通信】は、お名刺を頂いた方などで縁の出来た方にお届けしています。

不要の方は、大変お手数ですが、弊社ホームページ (<https://kyoukan-copy.com>) に、購読解除専用メールフォームを設けています。このメールフォームよりお知らせください。



良客万来通信



一日も早くマスクの要らない
日常が戻りますように

少子高齢化、人口減少、そしてコロナ禍で加速したインターネットでのお買い物・お取引・・・。
リアル店舗、つまり実店舗で商売をしている私たちの未来は”お先真っ暗”なのだろうか？

正直、従来の商売のやり方では、お先真っ暗なのかも・・・では、どうすれば？？

少しでもマーケティングを学んだ事のある方なら、”マーケティングミックス・4つのP”を聞いたことがあると思います。

しかし、この”従来の4つのP”が提唱されたのは1960年代のこと。いつの間にか時代に合わなくなってきたのです。

そこで、この本の著者が提唱しているのは、従来の4Pとは異なる”新しい4P”です。

この本の著者は、商業経営専門誌の取材者・編集者として4半世紀にわたって4000を超える事業所やお店を取材して来た笹井清範氏。

笹井氏は、著書の中でこう話しています。

『取材の中で、従来のマーケティング理論の常識を超えた”奇跡”にたびたび出会ってきました。そして、奇跡には4つの共通点があることに気付いたのです。本書は、こうした奇跡の再現を、あなたと一緒に目指すためにあります』

この本では、笹井氏が提唱する”新しい4つのP”を、笹井氏が取材を積み重ねた4000人超の商人たちから20人を厳選し、彼らが起こす奇跡の商いをもとに解説しています。

是非、あなたも笹井氏が提唱するこの”新しい4P”をご商売に活かしませんか？

そして、この本で紹介された20の事例のように、今のあなたのご商売を、毎日を生き活きと楽しめる営みに変えてみませんか。

編集後記

今年も沈丁花の花が咲きました。

沈丁花が放つ、春を告げるうっとりする芳香は、風に乗って、ご近所さんにもおすそわけです。

写真は3月17日撮影



「ありがとう」があふれる20店の実践
苦難にあってもあなたの店を繁盛に導く羅針盤！

笹井清範著 同文館出版
1760円(税込)

売れる人がやっている
たった4つの
繁盛の法則

20の事例の中には、あなたにピッタリ合う事例があるかもしれません。

売る方も買う方も共にワクワクさせる広告屋

良客万来広告工房 代表 鈴木光治

(旧屋号：鈴木DMライター事務所)

〒553-0003 大阪市福島区福島4丁目6-2
吉川産業ビル206号室

ホームページ：<https://kyoukan-copy.com>

メール：info@kyoukan-copy.com

携帯電話：080-2434-5395

※お電話に出られない事が多いので、お問い合わせ等はメールで頂ければ大変助かります。



定休日：土曜日・日曜日・祝祭日
営業時間：朝6時30分～15時
近隣の方なら、営業時間前の朝の爽やかな時間に打合せが出来ます。



JR東西線新福島駅
3号出口から歩いて3分です。



玄関が2つありますので、右側の吉川産業ビルの玄関からお入りください。2階に上がって、右側に当事務所があります。



良客万来通信



あなたのお財布が
パンパンに張る”春”
になりますように



えッ??

私のパソコンは、あと3年しか使えないのか？

私が今使っているパソコンは、使い始めてから約8年ぐらいかな。結構古いのだ。

途中、令和元年10月に windows7 から windows10 にアップグレードした際、あまりにも処理が遅くなったために、メモリーを限度一杯まで増設し、ハードディスクを SSD に交換した。

その結果、今日もサクサクと元気にストレスなく快適に動いてくれるのだ。この調子で行けば、3年どころか5年ぐらい、いやもっと使えそうな気がするのだ。

しかし、あと3年後には、新しい windows11 にアップグレードをしなければいけないのだ。

そこで問題が起こるのだ。

パソコンの設定ページでは、『このPCは現在、Windows11 を実行するための最小要件を満たしていません』と表示されているのだ。そこで、”pc 正常性チェック” を実行してみると、何だかよくわからないが、要するに、「もうアンタのpcの仕様は古いから windows11 は使えませんよ」ということなのだ。

つまり、今回は、windows7 から windows10 にアップグレードした時のようにはいかないのだ。

ということは、今のpcが壊れなくても、3年後には買い替えなくてはならないのだ。

「そんな殺生な」なのだ。3年後には、10万円以上の頭の痛い出費が起こるのがほぼ確定なのだ。そんな3年後の事を今から考えてしまい、頭が痛い、今日この頃なのだ。

「薬物では得られないスリル 盛り上がりって叫び踊る客 興奮のルツボ」

映画『ブルースブラザーズ2000』 エルウッドのセリフより

観客は手を叩き、体を揺らし始め、そして立ち上がって・・・

ゴスペルアルバムとしては、300万枚以上を販売した記録を持つ、教会で行われた伝説的ゴスペルライブの映像を収録したのがこのDVD。アレサ・フランクリンの魂を揺さぶる歌声はもちろんですが、このライブ会場を包み込む興奮と感動を、是非、あなたも体験してみたいかがですか。



【『Amazing Grace / アレサ・フランクリン』DVDの解説より引用】

”2018年6月、惜しくもこの世を去ってしまった「ソウルの女王」アレサ・フランクリン。

1972年ロサンゼルスニュー・templar・ミッショナリー・パブティスト教会で行われたライブを収録したアルバム『至上の愛～チャーチコンサート～(Amazing Grace)』は、300万枚以上の販売を記録し大ヒット。

史上最高のゴスペルアルバムとして今も尚輝き続けている。

アレサが自らのルーツである”ゴスペル”を感動的に歌い上げた伝説的ライブは、実はドキュメンタリー映画としても撮影されていた。長年の歳月を経て、その感動的な夜がついに映像で蘇る。”

★アマゾンプライムで有料配信(510円)をしていますよ。是非、どうぞ★